

【概念の問い】★概念カードに「予想」を記入しよう。

なぜ、平安から鎌倉時代の為政者は権力を握ることができたのか

1 平安京と平城京の違いは何だろう。教p44と52を比べて考えよう。

☆違いの理由はなんだろう？

2 天皇による政治の立て直し（教p52、53 資p41）

（ ）は、（ ）に基づく政治をたて直す

- ・国司の不正をとりしめる など
- ・東北地方の支配を強める→（ ）対策
→坂上田村麻呂を（ ）に任命 …

※ 著作権保護

・清水寺の写真

☆朝廷の支配の範囲はどうなった？

3 新しい仏教（教p53、資p41、45）

○ 唐にわたり、帰国後、新しい宗派をたてる

- ・延暦寺を建てた…（ ）－（ ）宗 …
- ・金剛峯寺を建てた…（ ）－（ ）宗

厳しい修業、学問を行う→皇族や貴族の心をとらえる



○ 皇族や貴族の間で、（ ）が盛んに
さらに、末法思想（世の中が乱れる）が広まる



- ・ 藤原頼通が（ ）を建てるなど、貴族たちはより浄土信仰を深める



- ・ 庶民の間でも、念仏がはやる

4 桓武天皇の政治、新しい仏教を、それぞれ一言でいうと？



1 藤原道長の歌から、このころの様子を想像しよう

「この世をば 我が世とぞ思う 望月の
かけたることも 無しと思えば」

2 平安時代(藤原氏が力をもったころ)の貴族の暮らし(教p55、56 資p43、44)

(1) 下の二つの資料や、教p55の資料から、文化の特徴を読み取ろう

※ 著作権保護

・寝殿造

()

※ 著作権保護

・源氏物語絵巻

()

特徴(教p46と比べてもOK)

- ・ 唐の影響力が(強まり ・ 弱まり)、それぞれの文化を育てる時代
- ・ 日本の風土や暮らしに合った、優美で洗練された文化→()

(2) 文学(教p56 資p44)

○ () の発達

- ・ かぐや姫…()
- ・ 「いずれの御時にか」…()
- ・ 「春はあけぼの」…()

○ 和歌も再び盛んに

…紀貫之の「 」

3 このような生活の背景は？(教p54 資p42)

○ () 氏が力をのばす

①娘を天皇の()にする

②天皇と親せき＝外戚関係を結ぶ →天皇は藤原の()となる

③天皇が幼い時は()、成人すると()

①～③の流れにより、天皇の力を利用して、政治の実権を握る

＝()

○ 一方、地方の政治は(ゆるむ ・ ひきしまる)

4 学習課題①に対する具体的知識①を「概念カード」にまとめよう。

【学習課題①】 藤原氏はどのように朝廷の実権を握ったのか

<必ず使用する用語・語句など>

☐ 外戚関係 ☐ 摂関政治 ☐ 天皇の力

【概念の問い】

なぜ、平安から鎌倉時代の為政者は権力を握ることができたのか

1 藤原氏によって地方が荒れると…?

※ 著作権保護

・粉河寺縁起絵巻、法然上人絵伝

地方

中央

2 武士が力を強めると? (教 p68、69 資 p47)

(1) 関東で平将門、西日本で藤原純友が、武士の集団()を動かして反乱

☆ 朝廷はどうした?

貴族

国司

()と()を中心に、武士の集団がまとまっていく

なぜ 彼らが中心になった? 教p70の系図から読み取ると?

(2) さらに…東北地方では

・阿部氏と清原氏が勢力を伸ばし、二度の争乱

()が関東の武士を率いてしずる

→これ以降、源氏は関東地方で力をもつ

(3) 東北地方のその後

藤原氏に由来する武士

・ ()が成長

→ ()を建てる

※ 著作権保護

・中尊寺金色堂

1 武士の台頭に、朝廷は(天皇は)黙っていたのだろうか？

2 白河天皇の政治(教 p70、71 資 p48)

(1) 朝廷では

- それまでの朝廷は？…()が力をもっていた



- 藤原氏と血縁関係がうすい後三条天皇が位につき、政治の実権を取り戻そうとする
- 次の()が、位を幼い皇子にゆずって()となる
→ 住まいを「院」と呼んだので()と呼ばれる

さらに出家すると
()

(2) 地方では

- 地方の武士は、税の負担を逃れようとして、貴族や寺社に土地を寄進
→ ()とし、自分は荘官となって勢力を広げる

- 国司は、()を支配する
- 大寺院は、()をかかえ、朝廷に圧力をかける



上皇は源氏や平氏を警護にあてる→武士が中央の政治にかかわる

3 平氏の政治(教 p71 資 p49)

(1) 保元の乱、平治の乱(院政の跡継ぎ争い、平氏 v s 源氏になる)に勝利

- () v s 源義朝

源頼朝、義経の父

→平氏が力を(強める ・ 弱める)



(2) 平氏の政治

☆ 厳島神社から、どんな政治を思い浮かべる？

※ 著作権保護

・厳島神社

- 院政を助ける

→（ ）となる

→娘を天皇の（ きさき ）とし、生まれた子を天皇に＝外戚関係を結ぶ

→政権を握る

- （ ）を行う



朝廷を思いのままに動かす

（武士からは不満）

5 学習課題②に対する具体的知識②を「概念カード」にまとめよう。

【学習課題②】 平氏は朝廷とどのような関係をもち、

どのように政権を握ったのか

<必ず使用する用語・語句など>

☐ 院政 ☐ 太政大臣 ☐ 外戚関係

なぜ、平安から鎌倉時代の為政者は権力を握ることができたのか

1 武士たちから平氏への「不満」は、どこに集まると考える？

2 源頼朝と鎌倉幕府（教p72、73 資p50）

（1）鎌倉の様子から、どんな政治を目指した？

※ 著作権保護

・鎌倉の上空からの再現図

（2）武士の政権のはじまり

- ・ 鎌倉を本拠地にする→集まった武士と関係を結ぶ＝（ ）



- ・ （ ）らが平氏との争いに勝利し、平氏をほろぼす



- ・ （ ）は、義経をとらえるとして、朝廷にせまて
国ごとに（ ）、荘園や公領に（ ）をおくことを認めさせる

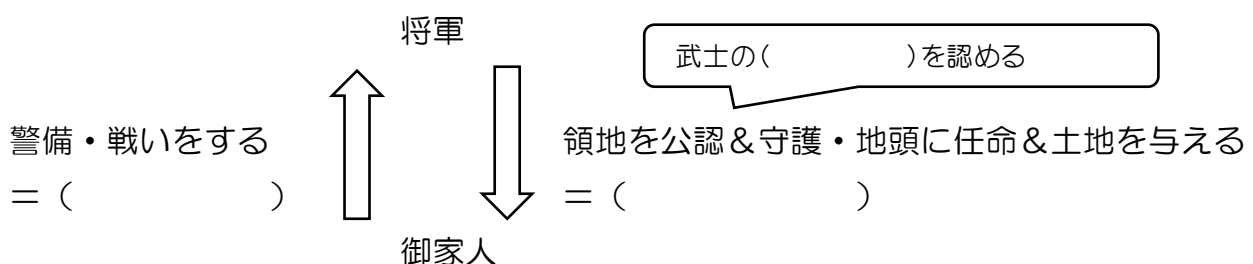
- ・ 義経をかくまったとして奥州藤原氏をほろぼす



- ・ 武士の総大将として、朝廷から（ ）に任じられる

鎌倉に立てられた武士の政権＝（ ）

（3）将軍と御家人の関係



3 源頼朝の死後（教p73 資p51）

- ・源頼朝の死後、妻政子の実家である（ ）が幕府の実権を握る
- （ ）という地位について政治を行う



- ・源氏の将軍が3代で途絶える …（その後は九条家など、京都の貴族を将軍に）



- ・院政をおこなっていた（ ）が兵をあげる＝（ ）
- 北条氏が大軍を率い勝利



- ・上皇についた貴族や武士の荘園を取り上げる
- ・京都に（ ）をおく



- ・武家社会のならわしをまとめた（ ）を定める

目的は？

4 学習課題③に対する具体的知識③を「概念カード」にまとめよう。

【学習課題③】 源氏は朝廷・武士とどのような関係を持ち、
どのように政権を握ったのか

<必ず使用する用語・語句など>

- ☐ 平氏との争い ☐ 守護・地頭 ☐ 征夷大將軍 ☐ 御恩と奉公
☐ 承久の乱 ☐ 六波羅探題

【概念の問い】

なぜ平安から鎌倉時代の為政者は権力を握ることができたのか。

予想

概念の問いについての予想を記述しよう。（「獲得する場」の始めに記入）

具体的知識①

学習課題①についてのまとめを記述しよう。

学習課題①：

具体的知識②

学習課題②についてのまとめを記述しよう。

学習課題②：

具体的知識③

学習課題③についてのまとめを記述しよう。

学習課題③：

【MEMO】

概念的知識 具体的知識をもとに概念の問いに対する概念的知識をまとめよう。
※「平安から鎌倉時代のの為政者は、（～することで）権力を握ることができた」といった型でまとめよう。

⇒具体的知識①～③をどのように関連づけ、概念的知識をまとめたのか説明しよう。

＜概念的知識の評価＞	
観点	知識・技能
評価	

「獲得する場」の振り返り

【概念の問い】なぜ平安から鎌倉時代の為政者は権力を握ることができたのか。

- ◎ 概念の問いに対する予想から、概念的知識獲得までの学習過程を振り返り、自分の考えが変わったり、深まったりしたきっかけとなった学習を具体的にまとめよう。(複数)

評価： A ・ B ・ C

「判断する場」の振り返り

【追究課題】

- ◎ 追究課題に対する学習や議論用ふせんの判断から、議論、単元レポートでの判断までの過程を振り返り、自分の考えが変わったり深まったりしたきっかけを具体的にまとめよう。(複数)

評価： A ・ B ・ C

「新たな問い」の発見

- ◎ 今後も考え続けていきたい新たな問いをまとめよう。その際、今回の単元で学んだどのような知識を基に、新たな問いを見いだしたのか説明しよう。(単元の終わり)

【新たな問い】

【理由】

評価： A ・ B ・ C

振り返りカード全体の評価：
＜主体的に学習に取り組む態度＞

評価：

A ・ B ・ C

【追究課題】

武士が政権を維持するためには、どちらとの関係をより深めるべきか。

- ◎ 獲得した概念的知識を活用し、今回の切り口の中から、追究課題に最もふさわしい切り口を選び、その理由を書こう。理由は、他の切り口との比較や複数の面（視点）や立場を意識して記述しよう。

選んだ切り口

（○をつける）

切り口A「朝廷」 / 切り口B「武士」

<思考・判断・表現>

<単元全体の評価>

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価			

- ◎ 単元の感想や授業の要望などがあれば、記述しよう。※評価には関係ありません。